

4
離婚カウンセラー「岡野あつこ」が
24歳年下夫から二行半の顛末

いかに斯界の第一人者として、自分の相談となると、やはり勝手が違うようである。3年前、ふた回り年下の男性と再婚した離婚カウンセラーの岡野あつこ氏(59)。何と、ご主人から三行半を突きつけられてしまったというのだ。

厚労省の統計によれば、



まさしく紺屋の白袴

現在、2分17秒に1組が離婚している計算になるといふ。そんな時代に引っぱりダコの岡野氏は、28歳で5

歳下の男性と結婚したものの、数年で破局。その経験をもとに離婚カウンセラーを開業し、以来20年で2万件超の相談に乗ってきたというのだから、まさに草分け的存在といえよう。

私生活では2011年5月、半年間の交際を経て24歳年下の会社員男性と入籍が、その再婚には、当初から暗雲が垂れ込めていたという。夫君の友人が明かす。「彼は、付き合い始めた頃は、彼女の手がけるピジネスや財力に圧倒されてしまった」と話していましたが、一方で結婚直後から「肌も話も合わない」と、盛んにこぼしていました」

一例として、岡野氏は焼肉を食べる時、網の上の箸さばき一つにも口を出さずタイプで、すっかり辟易してしまっただとか。

半年後の11月には、夫婦はすでに別居していましたが、目が行き届くように、彼は岡野さんの秘書役だった後輩と同居させられ、週に1回は夫婦でデートする条件になっていた。そのうち彼は、夜遅くに酔っ払って押しかけてきたり、干渉がひどいんだ」と愚痴るようになったのです(同)

手放したくなかった。でも、彼が徐々に疲弊していくのは明らかでした(同)

夫に探偵を...

実際、12年夏にはこんなことがあった。夫婦の内情を知る、さる関係者の話。「ご主人が、横浜に住む知人女性と会った翌日、岡野さんの意を受けた人物から横浜にいたでしょう」と電話が入った。後でわかったのですが、ご主人の車のリアバンパーに発信機が取り付けられ、発信所に尾行されていたのです。夫君は直ちに岡野氏を問い質したのだが、「あなたが怪しいから探

債をつけたの。発信機は返してね」と言い返されたというのです。さすがに怖くなって離婚を決意するので、岡野さんは、別れたくなくなつたらいつでも言つてね。私の判をついた離婚届も渡ししておくから」と言つていたのに渡さずじまい。妹さんが世話になつて、手前もあつてか、離婚話はなかなか進みませんでした」(同)

それが今年2月に急展開。いつになく強い調子で切り出した夫君に岡野氏が応諾し、先方から離婚条件の提案がなされたというのだが、

「その条件には、お互いに慰謝料を一切請求しない、などとあつたそうで、彼はこれまでの苦痛を考えたから到底呑めないよ」と憤つていました」(前出、友人)

当の夫君に聞くと、
「話し合いを進めているのは事実ですが、弁護士に任じているので……」

そう前置きしながら、
「一刻も早く人生の再スタ

ートを切りたいと思います」

一方の岡野氏は、

「プライベートに関することなので、取材には応じられません」(代理人)

ともあれ、そこは災い転

じて福となす。実体験から

説得力が増し、本業のカウ

ンセリングに磨きがかかる

こと請け合いだ。